

見どころ2
つうてんどう
【通天洞】



巨岩の隙間を縫うように鉄の階段を登る通天洞。階段というより、ほぼハシゴです。すぐ脇にそびえる巨岩も凝灰岩のようで、かつては海底に堆積した火山灰が地殻変動によって隆起したもののようです。

見どころ3
つうてんもん
【通天門】



通天門の向こうに見える山は「明神山」（標高1,016m）

「空に向かって開いたような天然の石門は、通称通天橋と呼ばれ、ぽっかり空いた空間は高さ約23m、幅22m、浸食作用又は風化によって形成されたものと考えられます。

この辺り、夏にはミカワショウマやハナゼキショウといった、絶滅危惧種に指定されている植物も見られるようです。

見どころ4
【乳岩洞窟】

国の名勝天然記念物。

凝灰岩中に含まれる石灰分が溶け出して天井部に乳房状の鍾乳石を作っており、乳岩の由来となっています

乳岩洞窟には、奥に子安観音が祀られていて、昔は乳岩を煎じて飲むと、母乳の出がよくなるという言い伝えがあったようです。



乳岩洞窟の中の様子



洞窟の中から外を見た景色。



ミカワショウマ



ハナゼキショウ

【新城】今が旬の名産品

「八名丸さといも」（新城市発祥のあいちの伝統野菜）

丸い形と粘りが強いことが特徴！

親芋を高温で蒸しあげ、鶏肉やタケノコなどを加えたモチモチ食感の「八名丸コロケ」はグリーンセンターしんしろで味わうことができるそうですよ。(〇)／

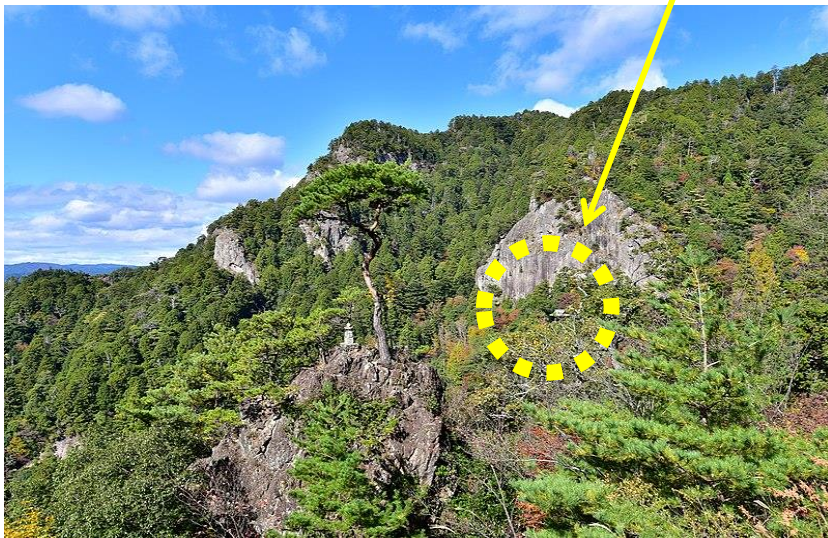


新城市のおすすめスポット

ほうらいじさん ほうらいじ

【鳳来寺山と鳳来寺】

鳳来寺は、こんなところに！



鳳来寺山は標高695m、1,400万年前の火山の名残で流紋岩などでできています。秋には紅葉の名所として親しまれ、“声の仏法僧”とも呼ばれる愛知県の県鳥・コノハズクが棲息していることでも知られています。山全体が国の名勝・天然記念物に指定されている自然の宝庫です。また、1300年の歴史を重ねる名刹と、貴重な自然を抱く霊山です。

鳳来寺（ほうらいじ）は、愛知県新城市の鳳来寺山の山頂付近にある真言宗五智教団の寺院で、本尊は開山の利修作とされる薬師如来です。

麓から1425段の石段が続く長い鳳来寺の参道には、樹齢800年、現存するものとしては日本一となる高さ60mを誇る傘杉などの見どころがあり、石段を上るごとに広がりを見せる奥三河の自然の風景は癒し効果絶大。徳川家光公によって慶安4（1651）年に建立された仁王門は国の重要文化財です。



見どころ1

さじきいわ

【棧敷岩】

トレッキングルートの入り口を入ると目の前に平らな岩が広がります。

乳岩川の河岸や河底は、「棧敷」と呼ばれるくらいに平坦な流紋岩質凝灰岩（りゅうもんがんしつぎょうかいがん）の段丘。一枚岩のように見える河床ですが、幾筋かの平行な割れ目「節理」が見られ、割れ目の両側の岩が少しだけずれているように見えるのが、二千万年前の「海底地すべり」の痕跡とみられます。

凝灰岩とは、火山から噴出された火山灰が地上や水中に堆積して出来た岩石。その凝灰岩に流れるような層状模様が見られるのが流紋岩質凝灰岩ですが。ここで言う火山とは、やはり「二千万年前」に噴火したと言われる設楽火山のことです。

